

こんにちは
日本共産党です

日本共産党流山市議団
高野 とも 7155-1683
いぬい紳一郎 7159-2773
小田桐たかし 7154-0878
徳増 きよ子 7148-6871
市議団事務所
TEL/FAX 7157-6140



父母と地域の願い踏みにじる自民保守・民主 市立流山幼稚園廃止条例を可決

6月議会最終日の本会議で、市立流山幼稚園の廃止を決める条例案が、幼稚園の保護者や地域自治会の反対の中、賛成13、反対12の一票差で可決されました。

「民でできるものは民で」と 六十年の歴史に幕引きはかる

流山市で最初にできた流山幼稚園。60年の歴史をもち、大勢の卒園生を送り出してきました。

市長は、近くの小学校や自治会、地域とも連携し、地域の子育ての拠点として愛されてきた流山幼稚園を、平成23年3月に廃止する条例を6月議会に提案しました。

廃止計画をはじめて発表したのは昨年の9月議会。その後、幼稚園保護者と5回、周辺自治会と

1回の説明会、話し合いがおこなわれましたが、保護者や地域は存続を強く求め、合意は得られていません。

それにもかかわらず、市長は、「公立幼稚園の役割は終わった。民でできるものは民で」と、強引に条例案を提出したのです。

日本共産党は、12月、3月、6月議会とつづけて、一般質問で公立幼稚園

園廃止計画について教育長や市長に問い直し、計画を撤回するよう追及しました。

義務教育が困難になる中で、就学前の幼児教育の重要性が指摘されています。幼稚園から小学校へと地域で子育てができ

一票差、僅差での条例可決に 傍聴のお母さんたちから悔し涙

議会審議は、お母さんたちや幼児、自治会関係者らが見守るなか、教育福祉委員会で、6月22日と26日の二日にわたって、おこなわれました。

日本共産党は、東幼稚園廃止にはじまる公立幼稚園廃止計画が、幼児教育に対する市の責任を放棄するもの、流山幼稚園の廃園は撤回をと追及しました。

流政会の地元議員は、市長に提出された保護者の声をどう受け止めているのかと、廃園反対を主張しました。公明議員も「幼稚園協議会の答申から、市長の方針が変わっている。説明すべきだ」と批判しました。

る公立幼稚園は、保護者から高い評価を得ており、「流山の宝」の一つです。子育て支援に力を入れると言わなければならないで

る成果をしっかりと受け継ぎ、発展させるべきではないでしょうか。

委員会では、反対…2、賛成…3、棄権…1で条例案は可決され、最終日、本会議での採決となりました。

6月29日の本会議では、委員会採決で棄権した公明党が、幼稚園の廃園時期を一年遅らせる修正案を提案。事前には修正案が可決される可能性が大きいと考えられていたが、民主みらいの2名が棄権し、松田議員が賛成に回ったことで過半数に1名足らず、否決されました。

その後、当局提案の条例案の採決がおこなわ



し、引き続き公立幼稚園を守るため、日本共産党は全力をつくします。

市長を「薄氷を踏む」ところまで追い詰めたのは、電話や訪問活動で議員への働きかけを粘り強くおこなった幼稚園のお母さんたちです。

採決の後、悔し涙にくれていたお母さんたちの願いを大切に

幼稚園の廃園に賛成した議員	流政会	坂巻 忠志 戸部 源房	馬場 征興 松野 豊	中村 好夫 中川 弘
	改革21市民クラブ	海老原 功一 酒井 睦夫	横須賀 靖	田中 美恵子
	民主党	藤井 俊行	堀 勇一	
	民主みらい	松田 浩三		
棄権した議員	民主みらい	森田 洋一	高瀬 眞木	